

2013年 2月 7日

苫小牧市長
岩倉博文様

北海道平和運動フォーラム
代表 江本秀春
代表 中村誠吾
平和運動フォーラム日胆地域協議会
代表 林英樹

米軍高速輸送艦「ウエストパックエクスプレス」の苫小牧入港に 反対する申し入れ

<要請趣旨>

陸上自衛隊は、2月21日から3月9日まで、北海道大演習場及び東千歳駐屯地で日米共同訓練を実施することを公表しました。訓練の目的は、陸上自衛隊第7師団第11普通科連隊(千歳市)と沖縄に駐留する米海兵隊が共同で、「それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における連携要領を実行により訓練し、相互運用性の向上を図る」としています。これは、日米軍事一体化の推進のもと、陸上自衛隊を米軍の一部隊として機能させるための訓練であることは明らかです。

また、訓練に参加する米海兵隊や物資を輸送するために米軍高速輸送艦「ウエストパックエクスプレス」を民間港である苫小牧港に入港させようとしていることも明らかになりました。昨年2月の米艦船「ブルーリッジ」「パトリオット」に引き続く寄港は、苫小牧港の軍事的利用を常態化させるものであり、「非核平和都市宣言」を制定した貴職をはじめ苫小牧市民の努力を踏みにじるものです。

北海道においては、米海兵隊の矢臼別実弾砲撃移転訓練や千歳基地への米軍戦闘機訓練移転、東千歳駐屯地から苫小牧港までの戦車の公道自走、さらには道内民間港への米艦船の寄港などが相次いでいます。このような米軍・自衛隊による北海道での訓練強化は、在日米軍基地の縮小・撤去を求める道民の願いに逆行するものです。

つきましては、貴職におかれましては、自治体の長として毅然とした判断を下されますよう下記の事項について要請いたします。

<要請事項>

日米軍事一体化をはかる「日米共同訓練」の中止を求める道民の願いを踏まえ、米軍高速輸送艦「ウエストパックエクスプレス」の苫小牧港入港を許可しないこと。

以上